

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

第32回宮城県本部総会

日時 2022年9月3日(土) 13時30分開会

会場 仙台市民会館1階 第一会議室

記念講演：杉山茂雅氏（同盟県本部副会長、弁護士）

7月の参院選で、「憲法改悪勢力」が衆参両議会とも3分の2を占めました。「憲法改悪勢力」が目論むその危険な内容を明らかにして、「憲法改悪、戦争する国づくり」阻止のたたかいで、国民運動の多数派を勝ち取るために、その運動をすすめる活動内容を探ります。

講演だけ参加の方も歓迎します。ぜひ、お出でください

*駐車場はありますが、なるべく公共交通をご利用ください

*マスク着用にご協力ください



No.579号付録
宮城版No.400

2022年8月

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
宮城県本部

980-0022
仙台市青葉区五橋
1-5-13
県労連会館3F
国民救援会気付
☎022-222-6458

第2次岸田内閣が、発足しました。岸田内閣の特徴の一つは、国会を開かない事です。国の最高機関は国会であり、内閣ではない。国民に何も知らせないままに、行政が動いてゆく。まさに「暗黒政治」でないか。いまほど、憲法を守るたたいで、「憲法の危機」を感じる時はない。そのためには、改憲反対の一点で、国民運動の多数派を結成することが求められます。

ています。第32回総会は、300人の宮城県同盟の建設と、4400筆の国賠請願署名と「憲法署名」を提案してあります。そのためには、会員さん一人ひとりの力を結集するために、宮城県本部の活動強化が大切です。大いに課題を追求して、確かな運動の前進を勝ち取るうではありませんか

ぜひ、会員みなさんの参加をお願いします

女性部、仙台支部 第22回「近現代史学習会」

第17章「大東亜共栄圏というスローガンのもとで」2回目

7月は変則で、今話題の「徴用工や慰安婦の本当の謝罪とは何か」を再度一戸さんに17章をお話していただきました。10名の参加。

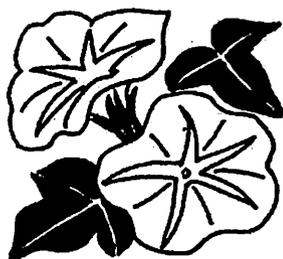
女性部・仙台支部学習会 第2弾 「日本近現代史を読む」22

「徴用工や慰安婦に対する本当の謝罪とは何か？」を考えるうえで、この本の起こした「侵略戦争をどう考えるか」が問われる。これまで私たちが学んできたように、明治維新以降東アジアの国々に対して、戦争を仕掛け植民地や占領地にしてきた日本。これらの人達への「不当な戦争」を、私たちは学んできた。徴用工問題では、1965年の日韓協定で、日本政府と韓

国政府の間で、賠償問題は解決しているというが、それは政府対政府の問題で、個人への賠償ではない。そもそも日韓協定を結んだのは、日本の佐藤栄作首相と韓国の朴正熙大統領下での協定であり、韓国でも日本でも日韓協定に対して、反対運動があった。徴用工問題も、慰安婦問題も、日本政府のかつての戦争に対する反省が明確に示され、個々の人に対しての賠償がされるべきである。戦前の治安維持法での犠牲者に対する謝罪も賠償もされていなくて、私たちの運動にかかっていると思った。

(文責・小野)

次回は、9月13日(火) 14時
仙台サポセンにて



劇映画「千代子」第2期の上映会

- (1) 泉区上映会 8月20日(土) ①10時 ②13時30分 ③17時
青年文化センター・エッグホール
- (2) 太白区上映会 8月25日(木) ①14時 ②18時
太白文化センター・楽楽楽ホール

石巻上映会(8月7日 石巻市まきアート)は、午前は80人、午後は53人が鑑賞し、同盟に1人加入しました。

当日は、「石巻川開き」の開催と重なり、多くのキャンセルがあって、上映まで、大変な準備と作業に追われました。

2022年9月3日13時30分～15時30分

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

第32回宮城県本部総会議案(案)

仙台市民会館1階 第一会議室

はじめに

「理性のある世界をめざし行動し学習する同盟」へ

治安維持法下で多くの有能な若者が犠牲になり、迫害を受け命を奪われました。そのような時代状況の中でわが国の平和と民主主義を求めた先達たちは、『労働者と小作・零細農民との同盟』を基礎に自らの政党を結成するなど、1920年代に、国民主権の共和政治をめざして絶対主義的天皇制と軍国主義に、本格的な闘いと抵抗を開始しました。それから一世紀という時代を迎える今日、先達たちの戦いを継承しているわが同盟はその貴重な教訓を土台に、中央同盟大会は、「2020年代に同盟要求の正しい解決を得る」ために「早期に2万名同盟の建設」と、自から決めた自主目標をやり切る「さらに行動する同盟」への大きな転換を決意しました。

七月の参院選で、自民・公明と維新・国民民主党などの補完諸政党は、軍事費2倍化・「敵基地攻撃」・核抑止力(核武装)・憲法改悪の大合唱を行い、衆参両院と

も3分の2議席を占めました。選挙後(7月11日)、岸田首相はできるだけ早く改憲発議をしたいと改憲の意思を公言しました。

憲法9条に自衛隊条項を挿入し、かつ「緊急事態条項」を導入するなど「戦争する国づくり」を狙う岸田政権と補完勢力の改憲策動に対して、「9条改憲を許さない」一点で国民的多数派をつくる事が重要です。民主主義のための国民的運動を全国津々浦々に展開し、圧倒的な国民世論の形成と「市民と野党の共同」の連携を強化しなければなりません。それは同時に、「治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を実施する政権」を樹立することにも結実する事です。今こそ、「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」と活動する国賠同盟が力を発揮する時です。

従って私たちは、次の二点を改めて堅持して、今後の運動を推進するものです。

- ① 治安維持法犠牲者に対する国の謝罪と賠償措置を実現すること。
 - ② 治安維持法犠牲者等が憲法の平和と民主主義のいしずえを築いた功績の顕彰措置を実践・実現していくために、県並びに支部同盟の拡大・強化を推進すること。
- 来年の県議選をはじめ地方選挙では、立憲野党の勝利

を勝ち取りましょう。次期衆院選に向けては、「市民と野党の共闘」を実現し、全国の小選挙区で立憲野党統一候補の勝利で政権を変えましょう。

一、前総会以降の県同盟の活動と今後の主な取組み

国際法である「戦争犯罪と人道に反する罪に対する時効不適用条約」を日本は批准してません。現政権は戦前の暗黒政治を省みる事なく、治安維持法と戦争の犠牲者の存在を全否定しています。「軍事費の倍加、核共有(核武装)」等を声高に叫び「戦争する国づくり」に奔走している政権と対決するためには、私たちの「自力」を強く大きくし治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を要求する運動の強化が求められています。

1 国会請願署名の活動と会員の拡大

・21年度の国会請願は5月12日に行いました。宮城県は、国会請願の代表派遣はできませんでしたが、1242筆(昨年は560筆)を請願しました。
宮城県本部は、「憲法署名」とセットで署名用紙を会員さんに届けて、「会員一人30筆」のお願いをしました。コロナ禍のもとで可能な活動を追求して、昨年よりもわずかですが前進することができました。
・会員の拡大は、昨年度の総会時点で約250名の会員でした。現在7月末時点で253名に、前進しました。

2 地方議会への陳情・請願活動

地方議会への働きかけも重要な運動のひとつです。「治安維持法犠牲者への謝罪・賠償法(仮称)」の制定を求める「意見書採択は宮城県では大崎市、塩釜市、村田町の3議会です。現在、43都道府県467区市町村議です。重視して具体化することが求められています。

二、治安維持法犠牲者と歴史的顕彰者の記念集会や学習活動

宮城に関係する治安維持法犠牲者と歴史的先人の実像を学び、顕彰・普及する活動を重視してとりくんできました。
同盟主催・みやぎの憲法行事参加の「講演会」と関連行事
・イラストレーターワタナベ・コウ氏講演会
・劇映画「伊藤千代子の生涯」全県試写会
・治安維持法犠牲者「高橋とみ子」墓前祭・学習会
・近現代史学習会を月一回のペースで行ってきました。

1 総会における副会長・杉山弁護士との記念講演を行いました。

2 各種・顕彰活動や集会への共同の取組み
県同盟と各支部主催の治安維持法犠牲者の学習講演会活動を行ってきました。
高橋とみ子墓前祭
布施辰治顕彰活動
安重根・千葉十七合同法要と日韓親善交流会

蔵王町の憲法記念碑前祈念集会

登米市の呑牛忌
坂猶興墓前祭

3 中央機関誌「治安維持法と現代」の普及

同盟中央機関誌「治安維持法と現代」は、全国各地の様々な経験や歴史が語られ、人間味溢れる内容で活動家必見の本です。自ら購読し経験などを学ぶとともに普及することは同盟のすそ野を大きく広げることにあります。春・秋年二回の発行で頒価は1000円です。

昨年の秋季号(№42)には、横田有史会長の「『治安維持法と朝鮮』のパンフについて」の寄稿が掲載されました。中央「不屈」7月号の「抵抗の群像」欄に、小野ともみ氏の寄稿が掲載されました。

4 県同盟のパンフの普及について

「治安維持法と朝鮮」・頒価500円(500部)、
「いま語る昭和史の影」・頒価300円(1000部)
が発刊されました。

五日市憲法草案(千葉卓三郎)・頒価200円、「高橋とみ子不屈の青春」・頒価500円等のパンフの増刷も行われ、積極的普及と学習会などでの活用等が極めて大切になっています。

5 犠牲者名簿の作成について

この間の取り組みで、高橋とみ子と大友鶴子の発掘など、官憲資料からは得られない事件が明らかにされました。しかし「謝罪と賠償」を要求する「犠牲者(有資格者)」を特定するには宮城県はまだ調査が必要です。他県の経験では、発行までに10年前後を懸けており、発行後にも「改訂版」に取り組んでいる県もあります。最近では、「不屈」読者の渡部八郎氏が7年懸けた「宮城で治安維持法違反などによって検挙や起訴された人たち」(上・下巻)の寄贈があります。あらためて担当者を決めて、この大事業に取り組みます。

6 映画「伊藤千代子の生涯」の上映運動について

映画「伊藤千代子」上映会に寄与するよう半年余り県同盟として各支部と協力し、実行委員会を立ち上げて、各団体・個人と連携して推進してきました。取分け宮城生協の文化鑑賞会とつながりコープの定例会の鑑賞会参加者や会員にむけて2700枚の劇映画「わが青春つきるとも」の案内チラシが配布されたことの意味は大きかった。塩釜試写会から始まり、5月12日の全県試写会で反響を呼び参院選前の6月に青葉区、若林区、宮城野区の上映会を行い1000名の参加者が鑑賞した。半数近くの方たちから多くの感想文が寄せられました。映画の感動が、社会進歩を求める人々の羅針盤としていまに生きています。

《今後の行事の御案内》

布施辰治 顕彰碑前祭(石巻) (9月11日)

平和と民主主義の足跡を栗原に訪ねて(11月1日)

高橋とみ子没後88年墓前祭 (11月)

坂猶興墓前祭 (青葉区北仙台日浄寺) (2月)

全国女性交流集会(静岡・伊豆) (11月6、7日)

東北ブロック学習交流集会(福島県)は延期となりました。

三、総会以後の県同盟の活動と今後の主な取組み

1 会員の拡大へむけて

今日の情勢にふさわしい同盟建設を念頭に、同盟の組織と活動の発展と継承のために、会員拡大は組織の基本です。現在253名の会員から300名の同盟達成のためにも、各支部会員拡大をあいまいにしないで追求する必要があります。対象者を明確にして、いつ、だれがを具体化することが大事です。会員目標300名を確実に達成することは全国目標の「早期に2万名の同盟実現と、さらに数万人の同盟建設に取組む」という方針に大きく貢献し、県内の運動にも新たな展望を切り開くこととなります。

2 請願署名にむけて

請願署名の各支部自主目標の合計4400筆の達成をめざします。会員一人一人が、周りの人々に訴えて5筆10筆と集めます。

今年度も「国会請願署名」と「憲法署名」をセットで取り組み、目標達成を目指します。

3 同盟の財政と機関紙について

財政は県同盟の運動を支える物質的な基盤です。会員名簿の整理や正確な実務に努力して、今期は九割の会員から整備・確立します。各支部の体制強化に努力します。各支部と連携し情報の共有や会員拡大と署名の運動に相互に取り組んでまいります。

・ 仙台支部強化の取組みについて

県都仙台市での活動をすすめるために、仙台支部を分割して、地域活動を広く展開します。宮城県同盟にとっても避けることのできない喫緊の課題です。

6 映画「伊藤千代子の生涯」の上映運動について

8月7日(日)の石巻市(まきアート)に続いて、8月20日(土)の泉区(青年文化センター) 8月25日(木)の太白区(桑葉ホール)の第二次上映会運動を成功させつつ、九月以降の大崎地区(10月23日)、仙南地域(11月5日、6日)、栗原地区、登米・気仙沼地区、並びに若者サークルなどでの第三次上映会運動の成功に全力を尽くします。

7 治安維持法犠牲者と歴史的顕彰者の記念集会や学習活動にむけて

定期の学習講演会の実施や時宜を得た企画立案を推進し、その成功のために努力します。

会費の納入という大きな成果を納めました。会員からの振込みではなく塩釜・石巻・大崎支部では、会員さんへの訪問・対話を大切に会費・財政カンパ活動に努力してきました。また塩釜支部では「不屈」を支部で配達して、郵送代の削減を行い県財政に貢献しています。

4 新しい支部の結成にむけて

・ 千葉卓三郎の生誕地・志波姫」、「安重根と千葉十七の若柳・大林寺」「徴用工」の強制労働と虐待の細倉鉱山など抱える『栗原市地域』では5月19日に劇映画「わが青春つぎともー伊藤千代子の生涯」の説明会を開催しました。その後地元S氏より「国賠同盟を作りたいので、入会するにはどうすればいいのかわかるか」との話になり、入会して頂きました。このように映画の計画から同盟建設へと活動が膨らみはじめています。

・ 登米・気仙沼地域では、劇映画「母」の取り組みの成功を基に、劇映画「千代子」の取り組みが準備されています。「呑牛忌」の「佐藤三千夫記念会」とも協力・共同の活動をすすめて、国賠同盟の支部建設をめざします。

5 県本部幹事会と支部の強化について

・ 県本部幹事会の体制強化を行います。

・ 県本部の運営体制を会員さんと各支部の要求に応じて、県本部の運営体制を

みやぎ2022市民の憲法行事

ぜひ、ご参加ください 【貸切バス 先着30人まで】

平和と民主主義の足跡を栗原に尋ねるバスの旅

日時；2022年10月1日(土) 集合：8時45分 JR仙台駅東口2F エレベーター前 《参加費》4500円(交通費、保険代、資料代)

《旅行行程》 仙台駅東口 9:00 出発 ⇒ (築館インター) ⇒ 千葉卓三郎の碑(旧志波姫町役場、現総合支所) ⇒ タクロンチーバの碑(卓三郎生誕地) ⇒ 若柳・大林寺(安重根義士碑・千葉十七家墓) ⇒ 金成・鈴木文治碑 ⇒ ハリスト正教会 ⇒ 鈴木文治碑・銅像(旧金成小) ⇒ (昼食) 先進的な栗原市政の報告、菅原市議・他 ⇒ 細倉鉱山跡 ⇒ (若柳インター) ⇒ (東北自動車道) ⇒ JR仙台駅東口着(午後6時予定)

*参加申し込みは、次ページの「申し込み欄」をお使いください

平和と民主主義の足跡を栗原に尋ねるバスの旅のご案内

《見学箇所》

1、千葉卓三郎

志波姫伊豆野出身1852(嘉永5)～1883(明治16)31歳没。仙台藩養賢堂(11歳)に学び、戊辰戦争白河口の戦いに参加(16歳)。五日市勤能小学校教師(現東京都あきるの市)。そこで学芸講談会を中心に活動し、「五日市憲法草案」を起草する。

2、大林寺

1909年ハルピンで伊藤博文を暗殺した韓国の愛国士安重根の遺墨を贈られて保管していた看守・千葉十七の菩提寺。

3、鈴木文治

金成出身(1885～1946)吉野作造と古川中学校時代の友人。東大法学部卒業後、労働運動へ。1912年(大正元年、冬の時代)、同志15人と「友愛会」を結成。1921年、日本総同盟と改称。日本の労働運動の先駆。社会党代議士。

4、ハリストス正教会

(1984年再建)千葉卓三郎、鈴木文治らを通った。

5、細倉鉦山

(鉛と亜鉛のヤマ)伝説では9世紀の発見と言われるが、本格的な開発は簡保年間(1741～44年)以降、仙台藩直営。日清戦争を機に成長。1934(昭9)年、三菱鉦業が買収。【朝鮮人連行・酷使】1960(昭35)年をピークに、世界的不況の中で衰退。1976(昭51)年から、三菱鉦業傘下の細倉鉦山に移行。1987(昭62)年3月閉山。

6、栗原市政の先進性

平成の合併で県内最大の町村合併。教育費無償化など、県内で先進的な諸制度を実現している。奮闘している現職議員から、取り組みを現地に学ぶ。

《申し込み先》住所 980-0022 仙台市青葉区五橋1-5-13 県労連会館

宮城県平和委員会(県労連会館4F) fax 022-263-6650

国賠同盟宮城県本部(県労連会館3F、国民救援会気付) fax 022-222-6450

TELL 090-2978-2192(武井あおい) 022-255-6666(出浦由美子)

090-8259-0665(横田有史)

申込書 (バス保険用) *申し込み締め切り**9月10日** (ただし、定員まで)

氏名	生年				
	月日	昭・平	年	月	日
住所	連絡電話				



伊藤千代子
(1905～1929年)

わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯ー

宮城県上映実行委員会ニュース NO.9

2022年7月20日

発行・劇映画「伊藤千代子の生涯」宮城県上映実行委員会(連絡窓口・小野ともみ 090-4312-1418)

連絡所・治安維持法国語同盟県本部(仙台市青葉区五橋 1-5-13 県労連会館 3F、022-222-6458)

第1次上映運動(4/15-6/19)

31都道府県・202会場で……

38000人が鑑賞！ = 民主共同の壮大な裾野拓く =

宮城県でも、試写会と4上映会場で

1000名が参加し、感動の渦!?

試写会 2か所(4/24、5/12、3回上映)

4月24日の塩釜の試写会に40名、5月12日の仙台メディアテークでの宮城県試写会には、午後と夜の2回で183名が参加。桂監督にも来仙いただき、青木、野呂相談員をはじめ実行委員会役員との交流も出来ました。更に、映画の音楽監督の山谷和明さんの妻の実家が太白区にあり、お母さんが券を多数普及している事。美術担当の藤村さんが仙台在住で、試写会にも駆けつけて監督とお付き合い頂きました。漫画家ワタナベコウさんの夫、ツルシカズヒコさんが宮城県北部出身であること。等、尚絅学園だけでなく宮城との絆の深さを痛感させられました。

青葉区上映会(6/8、2回上映)

青葉区実行委員会のまとめでは、午前が67名(製作協力券36、入場整理券28)、午後が68名(同・46、21)で131名が参加。アンケートは68名が提出し、年齢区分は、50代3名、60代17名、70代37名、80代9名、90代1名。映画観賞しての感想は満足が55名と圧倒的で普通が8名、無回答が5名でした。

塩釜ブロック上映会(6/12・13、4回上映)

試写会の参加者など、約100名の方に3~5枚の「入場券」の普及を要請。独自のチラシや参加券も作成し、ポスター活用し、2日間4回の上映で300名の参加者を実現しました。200名を超えた分の60%6万円も上納を完了しました。

若林区上映会(6/17、3回上映)

若林区実行委員会が担当した上映会では、同会場で上映した青葉区実行委員の協力も得て開催し120名が参加。平日の夜の部の参加は厳しかったですが、若林として初の挑戦は、見事に成功しました。

さあ！『第2次上映会』へ大きく飛躍させましょう！

8月7日(日) ①10:00 ②13:30

🌹 会場:石巻市まきアート(300席)

8月20日(土)①10:00 ②13:30 ③17:00

🌹 会場:仙台市青年文化センター
・エッグホール(94席)

8月25日(木) ①14:00 ②18:00

🌹 会場:仙台市太白区文化センター
・楽楽楽ホール(634席)

【第3次上映運動について】

10月23日(日)大崎市パレットおおさき

が確定しているほか、地震で延期になった仙南ブロック、栗原市ブロック、登米市ブロック、気仙沼市ブロックなどで開催を検討中です。

宮城野区上映会(6/18、2回上映)

宮城野区では実行委員会を立ち上げ、綿密な上映計画を検討しながら、「ワタナベコウ」講演会を企画し53名の参加を実現し、今回の上映会2回では、140名が鑑賞するなど、新しい挑戦を見事に成功させました。

生きる力、変革のエネルギーを創り出す力を！

竹下景子さんの推薦のことばです……



【千葉県実行委員会ニュース No.2、3/10 より】

自由にモノ言える大切さを教えてくれる美しい映画

東京女子大学長 竹下 景子
安井てつ役



百年前、私たちが今すっている空気と全く違う空気が覆っていた、そのことに果敢に屈することなくご自分自身をぶつけていった千代子さん。今私たちが、自由にモノを考えたり発言していくことができる、この自由というものがどんなに貴重で大切なものだったことを改めて知っていただく大変有意義な機会になるのではと思います。自分の信念に忠実に生きようとして、でも国の大きな力によってそれがままならないことになってしまおう。そういう人たちは本当に身を挺して自分たちの未来を平和を築こうとしているんだと思います。自由にモノが言える、その先には本当に平和の大切さ、そういうものを私たちみんなが考えていくことが大切なんだろうと思います。本当に意義あるそして美しい映画です。

全国の若者たちの

声

長崎県試写会場で

「大変良かった。自分の気持ちを自分らしく表現し、それをまわりにも言われても、曲げない伊藤千代子さんの行動に感銘を受けました。友達に勧めたいです」(20代)

「大変良かった。社会に対して疑問を抱き、不安を持ち、良くしていこうと行動することすら許されなかった時代が信じられませんでした。そんな中でも意思を曲げずつらぬき通した女性が存在したこと、とても誇りに思います。」

私は今、「Voice Up JAPAN 長崎外語大学支部」のメンバーとして活動していますが、一人一人の「声」が通りやすくなった今だからこそ不平等な社会を良くしていくため、苦しんでいる人立のために活動していこうと改めて強く思いました。今回はこのようなすばらし

い映画の試写会に呼んでいただき、ありがとうございました(20代)

長野県・塩尻会場で

この映画のエキストラとして出演したので気になって見に来た。思ったより衝撃がすごかった。千代子さんの生涯、自分自身を貫き通していることにとても感動。私も自分の意見を大切に行けたらと思う。大号泣。ありがとう(高校生)

現代の日本の社会とつながっていることがあってすごい。現在の日本はいろんな人が、かかわってできていることもわかった。私も伊藤さんのように、志をしっかりともちたい。(高校生)

北海道・岩見沢会場で

「とても良かったです。“自分に正直に生きる”という言葉が心に残りました。」(20代)

「民青の活動……。この地道な活動も、この映画で知った先輩方の強い意志で作られたのだと実感できた。決して今の活動をやめたくないと思った」(20代)

